

瀋陽師範大学短期研修を終えて

北海道教育大学函館校 地域協働専攻 国際協働グループ 3年 小原愛華

私が瀋陽師範大学の短期研修に参加した理由は、中国という日本に近く、そして身近である国の文化を実際に自分の肌で感じとりたいと考えたからです。

私は今まで海外に行ったことが一度もなく、今回の短期研修が初めてでした。海外には興味があったものの、行動に移すのに十分な機会と勇気がありませんでした。ですので、この短期研修は私にとって、海外へ出る大変よいきっかけになりました。

このプログラムでは、主に中国語の勉強をしました。少人数のクラスで分けられ、様々な国の人々と交流しながら授業を受けていました。習った中国語を使えることは、とても楽しかったです。いろいろな国の人と、少しですが言葉を交わして関わることのできる喜びも得られ、海外に出ることで初めて得られる体験ができました。

また、中国の伝統的な文化に関する授業では、茶道と太極拳、民間楽器の鑑賞を行いました。

茶道は、お茶の淹れ方や作法は日本のものとはやはり大きな違いがありました。また、お茶のルーツや種類が本当に豊富で、興味が湧きました。

太極拳は、私は初めて体験しました。先生もとてもよい方で、難しくてもわからないところも親切に教えてくださいました。ゆっくり体を動かすというのは、難しいことだと改めて感じました。ですが、それも苦にならないほど、雰囲気がよく、楽しい授業でした。

中国の民間楽器鑑賞は、私が思う一番楽しい授業でした。私は楽器を吹く活動をしているということもありますが、他の国の楽器に触れられる機会を、とても嬉しく感じました。琵琶など、中国特有の楽器の音色を間近で聞くことができ、感激しました。実際に、私も演奏してみたくなるような素晴らしいものでした。

授業以外にも、瀋陽の街を歩く機会がありました。瀋陽は、中国の地方都市であると現地の人から聞いたのですが、とても高い建物や広い道路が多く、さらには近年地下鉄も開通したということもあり、函館に住んでいる私にとっては地方都市であるとは全く感じられませんでした。

また、このプログラム内で瀋陽師範大学の日本語学部生と交流する機会が多くありました。文化も環境も違う中国での生活を、主にサポートしてくれました。中国のことについて、親切に教えていただいたので、とても助かりました。中国の現代の文化として、人気の歌など、たくさん教えていただきました。

学校内では日本語学部生の授業の様子を見学する機会がありました。瀋陽師範大学の日本語学部生は、ほとんどの学生が日系企業に就職するらしく、実際に社会に出たときに役に立つビジネスマナーを勉強していました。見学のなかで、日本のマナーについて一緒に相談す

る機会があり、やはり日本のマナーは難しい、と学生は言っていました。

また、留学生交流の場として、餃子作りをする機会がありました。中国では、皮まで手作りすることが普通であるなど、やはり日本と違うところがたくさんありました。日本だけでなく様々な国の人が自己紹介をしたり、その国の歌を歌ったりととても楽しかったです。

休日には、世界文化遺産の故宮を見に行きました。ボランティアとして日本語学部生がついてくださり、故宮についての説明をしていただきました。ガイドさんの説明をそのまま聞き取れるほどの能力は持ち合わせていなかったのですが、とてもありがたく感じました。

このように、たくさんの交流をして中国のことを教えてもらえる機会はたくさんありました。ですが、せっかく短期研修プログラムに参加したのにただ聞くだけでは非常にもったいないと感じました。ですので、日本で有名な作家や作品について文学に興味がある学生におすすめの本を紹介しました。このことを通して、文化をお互いに伝え合うことの楽しさと喜びを感じられました。



日本語学部生との交流  
中国東北料理



餃子づくり体験にて

今回のプログラムは 2 週間と非常に短いため、語学力は身に付くとは言いがたいですが、コミュニケーションをとる手段としてのジェスチャー、筆談などの能力は短期間でもついたと思います。瀋陽師範大学では日本語の通訳をしてくださる先生もいるため、短期研修でもし何かあったときも対応してくれるような体制でした。そのため、安心して短期研修プロ

プログラムを終えることができました。ただ、環境の変化になじめずに体調を崩すことがあるので体調管理には気を付けたほうが良いかと思います。

私のように、海外短期研修などが初めての海外となる人も少なくないと思います。不安なところもあるでしょうが、いざ行ってみると環境も言葉も違う国に行くということで、積極的な行動ができるようになります。このプログラムは短期ですので、初めて海外へ行く人におすすめです。ぜひ、申し込んでみてください。



中国の書道